

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち							
施策 No.	10	施策名	多様な交流の推進							
主管課名	企画政策課									
関係課名	商工観光課、農林水産課、地域協働課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、魚津水族館									
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や農林水産業と連携した体験・交流の場を求めて多くの人が本市を訪れています。 ・全国に発信できる様々な芸術文化やスポーツ等のイベントが本市で開催されています。 ・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。 ・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。 									
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・大学女子野球など全国から多くの人が集まる各種大会やイベントを応援し、盛り上げます。 ・市民レベルの国際交流に参加します。 								
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・片貝山ノ守キャンプ場、新川学びの森天神山交流館、博物館などの宿泊型公共施設や体験学習施設の充実を図ります。 ・国際交流の場を企画し、提供します。 ・外国人が訪れやすい環境を整備します。 								
	その他 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化の伝承や、イベントの実施など地域の魅力アップを図ります。 ・農山漁村で自然や文化、住民との交流を楽しむことができる機会づくりに協力します。 								
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	体験・滞在型交流の推進								
	基本事業②	イベント開催、コンベンションの誘致								
	基本事業③	国際交流の推進								
	基本事業④									
施策の トータルコスト	区 分			単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数			本	6 (6)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	10 (10)	6 (6)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	2 (2)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	5 (5)	4 (4)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1 (1)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)			千円	14,600	35,935	18,589	21,734	15,720	4,575
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計			千円	4,155	22,484	7,626	7,811	6,234	4,045
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計			千円	9,925	12,595	9,844	11,566	7,667	378
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計			千円	520	856	1,119	2,357	1,819	152
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計			千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計			人	11	21	20	19	24	13	
D. 事務事業に要する年間総時間			時間	2,500	5,940	3,320	3,120	6,560	2,660	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)			千円	10,453	24,419	13,370	12,517	28,562	11,789	
F. トータルコスト (B+E)			千円	25,053	60,354	31,959	34,251	44,282	16,364	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の			円	338	841	439	516	377	111
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)									
	同 上			円	242	572	316	297	685	286
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)									
	同 上			円	581	1,413	755	813	1,063	397
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)										
参 考	1時間あたりの平均人件費			円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)			人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	10	施策名	多様な交流の推進
基本事業名	①体験・滞在型交流の推進		
基本事業の目的(意図)	豊かな自然資源や地域資源をを活かした体験メニューの充実提供や、農山村漁村に滞在するグリーンツーリズム、ブルーツーリズムの発掘に努めます。また、埋没林博物館を拠点とし、ジオパークを通じた交流の推進を図ります。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【ジオパーク構想事業・ジオパーク普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立山黒部ジオパーク協会が実施する活動に対し、支援自治体会議を通じて、連携・支援を行いました。 ・「魚津は黄金郷！砂金をコレクションしよう」等の普及講座を開催しました。 <p>【片貝山ノ守キャンプ場管理運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片貝山ノ守キャンプ場を適切に運営管理し、キャンプやバーベキュー等に訪れる利用者に対応しました。 <p>【農山漁村振興交付金 地域活性化対策事業】(体験・滞在型事業・市予算外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した食事や農業体験などを提供し、観光客を農山漁村に呼び込むことにより、地域の活性化を図りました。 <p>【東京大学体験活動プログラム事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン促進について、東京大学生6名(オンライン)と魚津高校生4名(リアル)が、フィールドワークを行い、関係者に向けて政策提言を実施しました。また、発表会の様子は、YouTube市役所公式チャンネルにて配信しました。 <p>【ふるさとワーキングホリデー推進事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学体験活動プログラムの参加学生がアルバイトや地域貢献、フィールドワーク協力者と交流しながら魚津市の生活を体験しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
片貝 山ノ守キャンプ場利用者数	人	7,161	10,868	10,812	11,000 9,729	12,000 9,225	13,000 10,011	14,000 10,100	15,000 6,507
体験・滞在型事業の参加者数	人	—	269	179	290 121	300 323	310 222	320 237	330 232

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	ジオパーク構想事業	605,000	605,000	0	-	企画政策課
2	一般会計	ふるさとワーキングホリデー推進事業	781,000	36,000	745,000	-	地域協働課
3	一般会計	片貝山ノ守キャンプ場管理運営費	3,764,000	3,274,696	489,304	-	農林水産課
4	一般会計	○ ジオパーク普及事業	226,000	129,333	96,667	A	埋没林博物館
5	一般会計	○ 漁業振興事業(施策6②再掲)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)	A	農林水産課
6							
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			5,376,000	4,045,029	1,330,971		

基本事業概要シート②

施策 No.	10	施策名	多様な交流の推進
基本事業名	②イベント開催、コンベンションの誘致		
基本事業の目的(意図)	全国から多くの方が本市を訪れ、市民との交流が拡大するよう芸術・文化、スポーツイベント等を開催・支援します。また、各種コンベンション、大学等の合宿を誘致するとともに当市を楽しんでいただくアフターコンベンションを充実し、まちのにぎわいを創出します。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【コンベンション開催支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・関西方面から大学生の合宿誘致やコンベンション開催の際の宿泊誘致等を促進するため、コンベンション実施団体への助成制度を設けていますが、新型コロナ感染症拡大の影響により実績は1件にとどまりました。 <p>【魚津しんきろうマラソン、全日本大学女子野球選手権大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第40回魚津しんきろうマラソンは、県内外から5,661人の申し込みがありましたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。 ・第34回全日本大学女子野球大会も同様に中止となりました。代替として開催を検討した秋の交流戦についても中止となりました。 <p>【観光・物産宣伝事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市への誘客を図るため、じゃんとこい魚津まつりや漁火まつり、よっしゃ来い!!CHOUROKU祭り等の各種イベント開催への助成を予定していましたが、新型コロナ感染症拡大の影響により中止となりました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
コンベンション開催数	回	9	13	15	15 20	15 21	15 26	15 19	15 1
魚津しんきろうマラソン参加者数(受付済数)	人	4,288	5,554	5,600	5,600 6,360	5,700 7,084	5,800 6,272	5,900 6,318	6,000 中止

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ コンベンション開催事業	3,500,000	378,000	3,122,000	B	商工観光課
2	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業(施策9②再掲)	(7,515,000)	(5,125,802)	(2,389,198)	A	商工観光課
3							
4							
5							
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			3,500,000	378,000	3,122,000		

基本事業概要シート③

施策 No.	10	施策名	多様な交流の推進
基本事業名	③国際交流の推進		
基本事業の目的(意図)	国際化の進展に伴って、他国の文化や考え方などの理解を深めるため、国際交流を展開します。市民間、地域レベルでの国際交流事業の支援を行い国際感覚豊かな人材の育成に努めます。また、外国人が安心して過ごせる環境を整備し、多様な交流を推進します。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	【国際交流推進事業】 ・公民館事業と連携し、しめ縄づくり体験会を実施し、その他イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送りしました。		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
国際交流推進員登録者数	人	15	18	18	26 20	27 21	28 21	29 20	30 18
外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整っていると 感じる市民の割合	%	9.9	15.7	16.2	22.0 12.2	24.0 11.7	26.0 11.6	28.0 8.9	30.0 13.4

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 国際交流推進事業	315,000	151,626	163,374	A	地域協働課
2							
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			315,000	151,626	163,374		

施策 No.	10	施策名	多様な交流の推進
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①体験・滞在型交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆片貝山ノ守キャンプ場の利用者数は、6,507名で前年度に比べて3,593名減少しました。 ◆新川学びの森天神山交流館の宿泊棟の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって460人で前年度に比べて6,200人と大幅に減少しました。なお、宿泊棟は、令和2年度末で閉鎖としました。 ◆農業体験などの体験・滞在型事業の参加者数は、232名で前年度に比べて5名減少しました。 ◆東京大学体験活動プログラム事業に6名の東京大学生が参加しました。(オンライン) ◆ふるさとワーキングホリデー推進事業に1名が参加しました。 <p>【②イベント開催、コンベンションの誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津しんきろうマラソン大会は、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、5,661人の参加申込(前年参加者数比657人減)がありましたが、中止となりました。 ◆新型コロナ感染症拡大の影響によりコンベンション開催数は、1回で目標の15回を下回りました。 ◆観光客の入込数は、新型コロナ感染症拡大の影響により881千人(昨年比655千人減)、宿泊者数は178千人(昨年比473千人減)となり、インバウンド宿泊数は2,696人(昨年比10,807人減)となり大きく減少しました。(再掲) <p>【③国際交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国際交流推進員登録者数は、2名減の18名になりました。近隣他市では、国際交流員(OIR)を採用している市もありますが、それぞれの役割が異なり、単純に比較することはできません。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①体験・滞在型交流の推進】</p> <p><学びの森天神山交流館運営費></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆音楽を始めとする様々な芸術活動や各種の合宿場所として、県内外からの利用者が新川学びの森天神山交流館を訪れています。 <ジオパーク構想事業・ジオパーク普及事業> ◆立山黒部ジオパーク協会が実施する活動に対し、支援自治体会議を通じて連携・支援を行いました。 <東京大学体験活動プログラム事業> ◆Uターン促進について、東京大学生6名(オンライン)と魚津高校生4名(リアル)が、フィールドワークを行い、関係者に向けて政策提言を実施しました。大学生が魚津のことを知る機会となりましたが、高校生がフィールドワークや東大生との交流により、様々な地域の魅力を発見することができ、ふるさとと魚津への愛着が深まりました。 <p>【②イベント開催、コンベンションの誘致】</p> <p><しんきろうマラソン事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆参加人数が一番多いハーフマラソンを充実させるために部門の増設や制限時間の延長など、参加しやすい大会となるようにして参加者を募集しました。 <全日本大学女子野球選手権大会事業> ◆本大会の中止に伴う代替大会を検討するなどして、県内外から選手や関係者が本市を訪れる機会を模索しました。 ◆新型コロナ感染症拡大の影響により富山コンベンションビューローや民間旅行会社等と連携しましたが、コンベンション・合宿誘致の目標達成には至りませんでした。 <p>【③国際交流の推進】</p> <p><国際交流推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公民館事業と共催し、「国際交流サロン」を開催し、国際交流の推進に努めました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①体験・滞在型交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆農林水産業や国登録文化財の東山円筒分水槽をはじめとした魚津の水循環、ジオパークなどを生かした体験・滞在型交流の充実に向けて、ツアーガイドの養成に引き続き取り組みます。 ◆片貝山ノ守キャンプ場などの宿泊者や利用者が増えるように、水循環プロジェクトや観光事業等と連携した魅力的な事業の企画立案とPRに努めます。 ◆魚津漁協が実施する魚津丸プロジェクト(食堂、宿泊施設、テストキッチン)等と連携し、体験・滞在型事業に取り組みます。 ◆ふるさとワーキングホリデー推進事業の参加者に関係人口となってもらい、魚津を発信してもらえるよう、交流に努めます。 <p>【②イベント開催、コンベンションの誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆しんきろうマラソンは、適正な大会規模と運営を主眼に置きながら、2年ぶりの開催に向けて参加者が気持ちよく、魚津へ何度も訪れたいくなるような大会となるよう努めます。 ◆大学女子野球は、新型コロナウイルス感染症の状況に対応しつつ開催の形態を模索しながら実施に向けて協議していきます。また、もっと多くの方々に観戦・応援してもらえるよう、片貝コミュニティセンターを活用した交流など積極的・効果的な事業実施と情報発信に引き続き努めます。 ◆コロナ禍に対応しながら地域経済への波及効果も大きいコンベンション等の開催の促進を図り、本市での宿泊者数の増加に努めます。 ◆観光イベントは、事業の態様や実施体制を検証するなど、より効果的に事業が行えるよう努めるとともに、コロナ禍の状況を鑑みイベント毎にウィズコロナの対応や開催の是非を検討しながら取り組みます。(再掲) ◆体育協会や経済・産業・地域等の様々な団体と受け入れ体制(仮うおづスポーツコミッション)を構築し、スポーツと他団体との連携イベントを開催することで、関係人口の拡大や産業活性化を図ります。 <p>【③国際交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民レベルでの国際交流が活発になるよう、新型コロナウイルス感染状況等を鑑みながら、国際交流推進員と協働して事業を推進していきます。 			